

# “大切な花”を咲かせよう



つづじが崎学園

保育所等訪問支援通信NO. R7-3

秋～冬は行事が盛り沢山の季節ですね。運動会が終了し、すでに年末の行事の練習が始まっている園もあるのではないのでしょうか？今回の通信は“衛生面に関する動作”がテーマです！感染症が流行り始める季節でもありますので、生活の中で基本の動作と意識を身に付け、大切な季節を元気に乗り切っていけると良いですね。

まずは4月の内容の振り返りです。これらの要因は、1つずつ独立しておらず、互いに強い関連性があります。

## 不器用さや苦手さの要因は？

- ① “両手がうまく使えない”
- ② “感覚の未発達”
- ③ “力のコントロールが苦手”
- ④ “ものを見る力が弱い”
- ⑤ “体のイメージが捉えにくい”



## 動作のチェックポイント～手を洗う・鼻をかむ・マスクをつける～

	練習に入る前に…	練習してみよう★	遊びや生活のできること
手 を 洗 う	<p><b>★水温は適切ですか？</b> 水が冷たい為に手洗い自体を嫌がる子もいます。</p> <p><b>★両手の動かし方を習得していますか？</b> 左右の手が違った動きをする必要があります。石鹸をつけると滑って更にわかり辛いため、まずはつけずに確認する時間があると良いです。</p> <p><b>★力加減は適切ですか？</b> 適度な力でこすり合わせることが大切です。力が入り過ぎている場合には、指と指をしっかりと開くよう伝えましょう。</p>	<p><b>★指と指を交互に組み合わせよう！</b> 大人が見本を示しながら基本の動きを伝えましょう！大人が子どもの手を持ち、動きの方向を確認するのも有効です。</p> <p><b>★手順や目安を決めておこう！</b> 綺麗に洗っているかは、見分けることが難しく、成功が見えにくい活動です。手の平→甲→次は…と、洗う手順を決めたり、15秒以上洗う…等、具体的に教えたりすると良いです。イラストつきの手順表が分かり易い子どももいます。</p>	<p><b>★絵の具遊び・泥遊び等</b> 汚れた手を綺麗に洗い流す際、目で見て確認する経験ができます。</p> <p><b>★感覚遊び…粘土等</b> 玉状の物を両手に挟んで転がす動作を経験します。</p>
	<p><b>★顔を自分で洗えますか？</b> 鼻や口等…自分の顔のパーツを認識して撫でたり触ったりすることができるようになってから、鼻をかむ練習を始めましょう。</p> <p><b>★口を閉じて鼻だけで呼吸できますか？</b></p>	<p><b>★気持ちの良い鼻呼吸の感覚を経験させる</b> 普段から鼻が詰まっていると、その感覚に慣れてしまっている可能性があります。大人が拭き取ってあげることで、快適に呼吸する感覚を知り、鼻をかむ必要性を知ることが第一歩です。</p> <p><b>★大人の見本や鏡を使って動作を見る</b> ティッシュの抑え方は自分では見えないので、目で見て知る機会があると良いです。ティッシュなしで鼻の穴を抑える動作もやってみましょう。</p> <p><b>★大人が後ろから介助して動きを伝える</b></p>	<p><b>★ハンカチ畳み・折り紙等</b> 紙を丸めずに上手く畳めると、鼻をかみやすくなります。まずは二つ折りで十分です。</p> <p><b>★楽器・シャボン玉等</b> 口周りの筋力が低いと、鼻から息を吐こうとした時に口から息が漏れてしまいます。楽しみながら筋力を高めましょう。</p> <p><b>★ティッシュを顔の前に置らし鼻息で飛ばせる？</b> ゲーム感覚で鼻呼吸の要領を鍛えます</p>
鼻 を か む	<p>↑動作の確認の仕方の例（右文参照）↓</p>	<p><b>★耳の裏側を指先で触れますか？</b> 普段自分では見ることがないので、認識し辛いです。指でぐるっとなぞり、確認してみましょう。</p> <p><b>★輪ゴムをつまんで引っ張れますか？</b> 動作はできても、力加減が難しい場合は、マスクのゴムのタイプを見直しましょう。（太さ・硬さ）</p>	<p><b>★両方同時が難しければ、片方ずつ行う</b> 動作は難しいけれど、マスクをする必要がある場合には、左右のゴムを後ろで縛り、かぶるタイプにするのもひとつの手です。動作は焦らず、マスクをつける習慣を作っていくことを優先しましょう。</p> <p><b>★保護者の顔に、マスクをつける</b> マスク付け合いっこです。客観的に、耳の位置と掛ける動作を確認できます。</p>
	<p>参考書籍：「苦手が「できる」にかわる！発達が気になる子への生活動作の教え方」 鴨下賢一 著 立石加奈子・中島そのみ 著</p>	<p>↑動作の確認の仕方の例（右文参照）↓</p>	<p>どの動作にも共通しているのは、子ども一人ひとりの成長段階を見極め、取り組みの方法とゴールを選ぶことです。子ども達の意欲を尊重しながら取り組んでみましょう☆</p>

### 「保育所等訪問支援研修会へのご参加、ありがとうございました！」

11月13日、保育所等訪問支援研修会を実施しました。園・児童発達支援・相談支援・訪問支援と、それぞれの立場から「連携」について事例発表し、グループワークでの情報共有も行いました。「支援チームを作りたい」「誰もが孤独になることなく支援できる」「悩みを共有できた」「支援者が同じ方向を向くことが大切」など感想をいただき、これからも多職種の支援者が集まり、それぞれの“支援の活力”になるような研修会を実施していきたいと感じました。

事業所評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果はつづじが崎学園のホームページ（情報公開）をご覧ください。

児童発達支援センター つづじが崎学園  
地域支援事業部 保育所等訪問支援  
〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町614番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail ooshiba@tutuji.or.jp

担当：吉岡かよ・大柴知子・野口樹音

